

第 71 回関東都県算数・数学教育研究（静岡）大会 報告

第71回関東都県算数・数学教育研究静岡大会が、平成28年8月10日(水)に静岡県静岡市において開催された。

大会主題は「未来に生きる思考力・表現力を育む算数・数学教育 ―考えあう楽しさを味わいながら、数学を創造する授業をめざして―」であり、都数研からも多数の先生方が参加し、研究発表や指導助言、司会を務めた。大会の内容を下記に記す。

1 全大会・記念講演

日 時 平成28年8月10日(水) 9:40 ~ 11:20

会 場 グランシップ

内 容

(1) 開会行事 9:40~10:20

(2) 記念講演 10:20~11:20

講師 國宗 進 先生 (静岡大学名誉教授)

演題 「算数・数学学習の過程とその成果」

2 高等学校部会分科会

日 時 平成28年8月10日(水) 13:00 ~ 16:15

会 場 グランシップ

内 容

高等学校の分科会は、

「数学Ⅰ」

「数学Ⅱ」

「数学A」

「数学Ⅲ」

「数学活用」

「数学B」

「ICT等の活用」

「学習指導法①」

「学習指導法②」

「学習指導法③」

「学習指導法④」

「大学入試」

「自由研究」

というテーマについて、9会場で合計36個の実践研究が発表された。

東京都からは以下の先生方より発表が行われた。

東京都立翔陽高等学校 藤本 宏

東京都立戸山高等学校 荻野 大吾

3 研究発表紹介

発表者： 藤本 宏 (東京都立翔陽高等学校)

テーマ： 学び直しを含む学習内容の定着状況を把握するための教材開発

【概要】

東京都教育委員会では、例年『東京都研究開発委員会』を開き、東京の教育のために現場の先生達が集まり、東京都教育委

員会からのテーマに基づいて教材開発を行っている。今回の発表では平成27年度に行ったこの開発委員会での取り組みを発表する。

平成27年度研究開発委員会での共通テーマは「個々の能力を最大限に伸ばすための指導方法及び教材開発」であった。この共通テーマを受けて、『教科等に関わる開発委員会』としてのテーマは、研究の目的となるものであるが、「学び直しを含む学習内容の定着状況を把握するための教材開発」である。

以下の活動を通して、1冊の冊子を作り上げた。

第1回 (1) 総会、全体会での指導部の方針

(2) 指導部の方針の確認

第2回 (1) 診断カルテの項目の洗い出し

第3回 (1) 診断カルテの検討

(2) 学力調査問題の検討

(3) 基礎学力強化問題についての検討

第4回~第9回

(1) 診断カルテの検討

(2) 学力調査問題の検討

(3) 単元指導計画の検討

(4) 基礎学力強化問題についての検討

第10回 (1) 発表準備の検討

(2) 補助資料作成の検討

第11回 <研究開発委員会指導資料説明会>

各項目の構成

①単元設定のねらい

②学力スタンダード（基礎）に基づく具体的な到達目標

③単元指導計画

④診断カルテ

⑤学力調査問題

⑥調査問題解答

⑦基礎学力調査問題

この冊子を作成することにより、単元学習前のレディネステストとなる「基礎学力調査問題」、レディネステストの結果を迅速に診断できる「診断カルテ」、学習が未定着と診断された生徒のための補習教材「基礎学力強化問題」、また教員が単元全体を俯瞰できる「単元学習計画」とパッケージで開発を行うことができた。残された課題は、教材の検証である。そのためにも、この冊子がより多くの先生方の目に届き、実際の現場で活用され、より多くの生徒の学習の手助けとなることを心より期待する。

都数研から参加した指導助言・分科会司者は以下の通り。

指導助言者：牧下 英世 (芝浦工業大)

加藤 竜吾 (都武蔵村山高校長)

司会者：肥田 成悦 (都立川高)

森尻 達也 (都羽村高)

文責 編集部 森尻 達也 (都羽村高)